

竹林塗装工業株式会社

2017年度環境活動レポート

(対象期間:2017年 2月~2018年 1月)



作成日： 2018年2月15日

竹林塗装工業株式会社

環境方針

地球温暖化や環境問題が会社経営の重要課題との認識にたち、建築物の塗装工事、防水工事及び建築改修工事の事業活動における環境負荷の低減を図るために、業界・団体とも連携し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ②廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
 - ③水道水使用量の削減（水資源の保全）
 - ④化学物質の使用削減に努めます。
 - ⑤環境に配慮した製品・資材の購入を推進します。
 - ⑥環境に配慮した製品の施工工法（遮熱塗装等）を推進します。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日：2011年10月11日

改定日：20 年 月 日

代表取締役社長

竹林正清 

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

竹林塗装工業株式会社
取締役社長 竹林 正浩

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市淀川区新北野1丁目12番2号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 井上 博俊 TEL : 06-6301-9281
事務局 清水 満

(4) 事業内容

建設・塗装・防水工事業

(5) 事業の規模

	本社
従業員	28名
延べ床面積	201.04m ²

(6) 事業年度

2月～1月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 竹林塗装工業株式会社

対象外 : なし

活動 : 建築物の塗装工事、防水工事及び建築改修工事の施工

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2011年	2012年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	63072.65	59338.52	141132.17
廃棄物排出量	トン			
一般廃棄物量排出量	トン	1,549	1,525	1,416
産業廃棄物排出量	トン	237,000	162,000	49,700
総排水量	m ³	270	265	288

※電力の二酸化炭素排出量換算係数 0.294 (kg-CO₂/kWh)

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2017年		2018年	2019年
		(基準度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	6,063	6,033	6,377	6,003	5,972
	基準年比	(2016年)	99.5%	105%	99.0%	98.5%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	49,677	49,429	44,914	49,180	48,932
	基準年比	(2011年)	99.5%	90%	99.0%	98.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	55,740	55,462	51,291	55,183	54,904
一般廃棄物の削減	kg	1,549	1,503	1,416	1,495	1,487
	基準年比	(2011年)	97.0%	91%	96.5%	96%
混合廃棄物の削減	kg	143,000	139,000	133,000	138,000	137,000
	基準年比	(2011年)	97.2%	93%	96.5%	96%
廃油の削減	kg	34,000	32,980	31,000	32,800	32,650
	基準年比	(2011年)	97.0%	91%	96.5%	96.0%
節水	m ³	268	268	288	268	268
	基準年比	(2011年)	100.0%	107%	100%	100%
製品への環境配慮の推進	%		—	78.1%	79.0%	80.0%
	基準年比	(2017年)		100%	105.0%	110%

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	×	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	目標未達成。前年同様、活動計画の実施が十分になされていない。再度周知を行い、改善に努めるものとする。
・不要照明の消灯	△	改善の事	
・昼休みの消灯	×	改善の事	
・空調の適温化（冷房28℃、暖房20℃）	△	改善の事	
・使用していない空調の停止	○	強化	
・季節における軽装、重ね着の工夫	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	公共交通機関利用を励行するとともに、前年同様人の相乗りを行い、利用台数の削減に努めるよう周知を行う。
・エコドライブの励行	○	強化	
・共積み、相乗りの励行	△	強化	
・公共交通機関の利用の励行	△	強化	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	書類の直し、簡素化を進め、極力社内のペーパーレス化を進めること。
・裏紙使用	○	継続	
・資料、書類の簡素化	△	強化	
・会議資料のペーパーレス化	△	強化	
産業廃棄物（廃プラ・廃油）の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	概ね良好、材料発注段階から調整を行い、更なる削減に努めること。
・残余資材の再利用	○	継続	
・資材発注時のチェック	△	継続	
・工事に合わせた施工方法の選定	○	継続	
節水			
数値目標	△	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	目標未達成。掲示物による意識の高揚を図る。
・資機材の現場での洗浄の促進	○	継続	
・節水シール貼付とポスター掲示	△	強化	
製品の環境配慮			
数値目標			現場への積極的な提案により、更なる水性化を励行する。
・水性塗料等の優先的な使用	○	継続	
社会貢献			
・周辺道路の清掃活動	◎	継続	本社周辺の清掃活動は継続され、良好な状態に保たれている。長時間の放置車両もなく、今後とも継続のこと。

□主な環境関連法規制

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃油等）
Nox・PM法	営業用車両、トラック
消防法（危険物）	溶剤の保管

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

基準値・目標値の見直しを行った。

結果としては概ね良好な状況ではあるが、目標達成のために策定した活動計画が十分実施されていない状況が見られている。未達成の項目はもとより、目標を達成している項目においても、計画を実施し、更なる削減に努めること。

また、社内のみならず現場へも活動を展開できるよう、数値結果及び活動内容を十分確認すること。
なお、2018年の実績をもとに新しい基準年数値とすること

□環境活動の紹介

- ・周辺道路の清掃活動